

令和5年度前期 情報検定

<実施 令和5年6月18日（日）>

2級

(説明時間 11:05~11:15)

(試験時間 11:15~12:15)

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - * パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は21ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後の合否結果（合否通知）、および合格者への「合格証・認定証」はすべて、Web認証で行います。
 - ①情報検定（J検）Webサイト合否結果検索ページ及びモバイル合否検索サイト上で、デジタル「合否通知」、デジタル「合格証・認定証」が交付されます。
 - ②団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題 1 次の経営戦略に関する記述を読み、各設問に答えよ。

経営戦略は、企業の経営理念にもとづいた経営目標を達成するために立案する。経営戦略の策定には、他社にない企業独自のノウハウや技術などに経営資源を集中し、競争優位を確立する 経営がある。

また、経営戦略のフレームワークにアンゾフが提唱した成長マトリクスがあり、次図のように“市場”と“製品”をそれぞれ“新規”と“既存”に分けて分析する。

		市場	
		新規	既存
製品	新規	多角化	製品開発
	既存	市場開拓	市場浸透

図 アンゾフの成長マトリクス

アンゾフの成長マトリクスにおける各戦略は次のようになる。

- … 技術開発や業務提携などで、新しい分野に進出することで成長を図る。
- … 現在の市場で、他社との競争に勝ち、市場占有率を高めることで成長を図る。
- … 既存の製品を海外市場に進出するなど新しい市場に提供することで成長を図る。
- … 新製品や新しい機能を付加した製品を現在の市場に提供することで成長を図る。

企業を成長させていく方向性を決定し市場を選択した後、顧客のニーズを的確につかむ必要がある。顧客が求めている製品やサービスを提供するための企業活動がマーケティングである。

<設問 1> 記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

(1) の解答群

- ア. BSC
- イ. コアコンピタンス
- ウ. ベンチマーキング

(2) ~ (5) の解答群

- ア. 市場開拓
- イ. 市場浸透
- ウ. 製品開発
- エ. 多角化

<設問2> 次のマーケティングミックスに関する記述中の□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

マーケティングミックスは、マーケティングの基本となる考え方である。

マーケティングに必要な要素を、製品、価格、流通、販売促進の4つに分類し、これらの要素を市場のニーズに合うように適切に組み合わせて最適な戦略を策定する。この4つの要素は売り手側に立った視点であり、□(6)と呼ぶ。

買い手側に立った視点の要素に、顧客価値、顧客コスト、利便性、コミュニケーションがあり、□(7)と呼ぶ。

(6) , (7) の解答群

ア. 4C

イ. 4P

ウ. ターゲティング

エ. ポジショニング

問題2 次のプロジェクト管理に関する記述を読み、各設問に答えよ。

プロジェクトが効率よく実行できるように作業順序や時間配分を計画したり、プロジェクトの進行状況を管理するために、アローダイアグラムを用いたPERT (Program Evaluation and Review Technique)図を利用する。

<設問1> 次のPERTに関する記述中の□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

アローダイアグラムでは、作業の流れを矢印で表し、作業名と作業に必要な日数(所要日数)を矢印上の英字と()内の数字で表している。また、丸数字はノードであり、作業の開始点または完了点を表している。各ノードから出ている矢印の作業は、ノードに入る矢印の作業をすべて終了しないと開始できない。矢印が破線の場合ダミー作業を表し、事前に行わなければならない作業を表している。

ある作業工程をアローダイアグラムで表すと図のようになった。

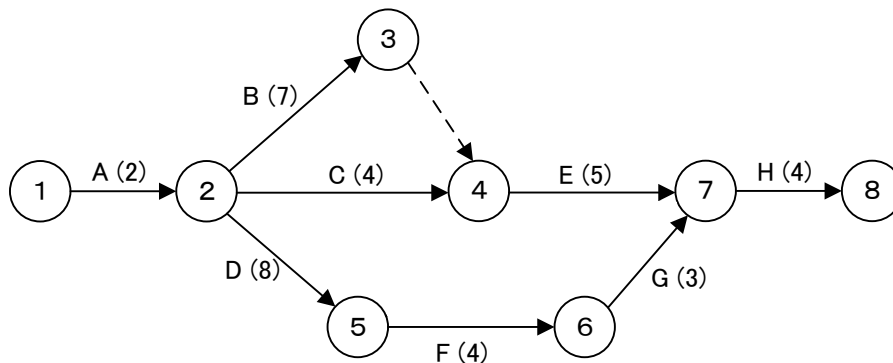


図 アローダイアグラム

図のアローダイアグラムにおける、全作業完了までの最短所要日数は□(1)日となり、このときのクリティカルパスは□(2)となる。

また、作業Eは作業Aの開始から最短で□(3)日後に開始できるが、作業Aの開始から遅くとも□(4)日後に作業を開始すれば、最短所要日数には影響が無い。

(1) の解答群

- ア. 14 イ. 15 ウ. 18 エ. 21

(2) の解答群

- ア. A → B → E → H
 イ. A → C → E → H
 ウ. A → D → F → G → H

(3) , (4) の解答群

ア. 6 イ. 9 ウ. 10 エ. 12 オ. 14

<設問 2 > 次の進捗管理に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

あるシステム開発の開始時点での計画表を以下に示す。要員 8 名で作業を開始し、16 日後の作業終了時点でソフトウェア詳細設計作業の 5 割までしか終了していなかった。この時点で全体の (5) % の作業が残っていることになる。

今後も同じ生産性が続くと想定した場合、システム開発を完了するためには

(6) 日必要である。

表 開発時点での計画表

作業	計画工数 (人日)
要求定義	16
システム方式設計	24
ソフトウェア方式設計	24
ソフトウェア詳細設計	32
プログラミング	48
テスト	16

(5) の解答群

ア. 30 イ. 40 ウ. 50 エ. 60

(6) の解答群

ア. 10 イ. 12 ウ. 18 エ. 16

問題3 次の情報表現に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータ内部では、文字や記号は0と1の2進数の組み合わせ(ビットパターン)に割り当てられており、これを文字コードと呼ぶ。また、線の太さや間隔の違いによって数値や文字を表すコードは、バーコードと呼ばれ、国名や業種・商品名・価格など業界ごとに必要な情報を含むことができるため様々な種類が規格化されている。

<設問1> 次の文字コードに関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (1) 日本産業標準調査会(JISC)が定めた文字コードである。英数と半角カタカナを扱う8ビットコードと、全角文字を扱う16ビットコードがある。
- (2) 主にパソコンで使用されており、特殊な切替コードを使わずに8ビットのコードと16ビットの漢字コードの混在を可能にしている。
- (3) アメリカ規格協会(ANSI)が定めた7ビットコードであり、誤り検査のための1ビットと合わせて8ビットで表現されることがある。アルファベット、数字、記号、制御文字が定義されている。
- (4) 国際標準化機構(ISO)が、世界中の文字の多くを表現するために定めた文字コードである。当初は2バイトの文字体系だったが、文字の追加や異体字表現の採用で現在は4バイトまで拡張している。
- (5) UNIX系OSで標準的に利用されてきた文字コードである。さまざまな国の言語を扱えるように漢字をはじめとするマルチバイト文字に対応している。

(1) ~ (5) の解答群

- | | | |
|----------|------------|------------|
| ア. ASCII | イ. EBCDIC | ウ. EUC |
| エ. JIS | オ. Unicode | カ. シフト JIS |

<設問 2 > 次のバーコードに関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (6) 物流商品コード用のバーコードとして利用されており、主に段ボールに印刷されている。標準の桁数は 14 桁で、バーの幅が「細い」か「太い」の 2 パターンでしか判別しない単純な機構のため、読み取りやすいバーコードである。
- (7) 書籍、コミック、カセットテープ・ビデオ・CD などの電子出版物を含む、出版物を識別する 13 桁の国際標準図書番号である。書誌情報（国名、出版者、書名）を特定して書籍の取引や図書目録の作成に活用されている。
- (8) 2 次元バーコードの規格で、これまでのバーコードが横方向にしか情報を持たないのに対し、縦横に情報を持っているため数字だけでなく英字や漢字など格納でき情報量が多い。コードの三つの角には切り出しシンボルがあり、どの方向から読み取っても情報を正しく読み取ることができる。また、汚れや破損があってもある程度までは読み取ることができる。

(6) ~ (8) の解答群

ア. EAN コード

イ. ISBN

ウ. ITF コード

エ. JAN コード

オ. QR コード

問題4 携帯電話の料金に関する次の記述を読み、各設問に答えよ。

J社では通信キャリア事業を展開しており、以下の基準に基づいて料金を設定している。

[基本料金について]

基本料金は下記の条件によって決定する。

- ・データを利用するさいの通信料上限設定によって区分を分ける。
- ・基本料金を表1のように設定している。

表1 基本料金

区分	通信料上限	料金
区分1	1GB	2,000円
区分2	3GB	4,500円
区分3	20GB	5,500円
区分4	無制限	7,000円

[家族割引について]

家族割引は下記の条件によって決定する。

- ・家族割引は回線の数によって割引料金を決定する。
- ・家族割引は2回線以上で適用され、3回線以上は一律1,100円とする。
- ・家族割引の割引料金は表2のように設定している。

表2 家族割引料金

回線数	割引料金
1回線	割引なし
2回線	550円
3回線以上	1,100円

<設問 1 > 次の携帯電話の料金を求めるデシジョンテーブル中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

表 3 携帯電話の料金に関するデシジョンテーブル

区分 1	Y	Y	Y	N	(1)	N	N	N	(2)	N	N	N	
区分 2	N	N	N	Y		Y	N	N		N	N	N	N
区分 3	N	N	N	N		N	Y	Y		Y	N	N	N
区分 4	N	N	N	N		N	N	N		N	Y	Y	Y
1 回線	Y	N	N	Y		N	Y	N		N	Y	N	N
2 回線	N	Y	N	N		N	N	Y		Y	N	Y	N
3 回線以上	N	N	Y	N		Y	N	N		N	N	N	Y
900 円	-	-	X	(5)	-	-	-	-	-	-	(6)	-	
1,450 円	-	X	-		-	-	-	-	-	-		-	-
2,000 円	X	-	-		-	-	-	-	-	-		-	-
(3)	-	-	-		-	X	-	-	-	-		-	-
3,950 円	-	-	-		X	-	-	-	-	-		-	-
4,400 円	-	-	-		-	-	-	-	X	-		-	-
4,500 円	-	-	-		-	-	-	-	-	-		-	-
4,950 円	-	-	-		-	-	-	X	-	-		-	-
(4)	-	-	-		-	-	X	-	-	-		-	-
5,900 円	-	-	-		-	-	-	-	-	-		-	X
6,450 円	-	-	-		-	-	-	-	-	-		-	-
7,000 円	-	-	-		-	-	-	-	-	X		-	-

(1) , (2) の解答群

ア.

N
N
Y
N
Y
N
N

イ.

N
N
Y
N
N
N
Y

ウ.

N
Y
N
N
Y
N
N

エ.

N
Y
N
N
N
Y
N

(3) , (4) の解答群

ア. 3,400 円

イ. 3,800 円

ウ. 5,500 円

エ. 5,700 円

(5) , (6) の解答群

ア.

—
—
—
—
—
X
—
—
—
—
—
—
—

イ.

—
—
—
—
—
—
X
—
—
—
—
—
—

ウ.

—
—
—
—
—
—
—
X
—
—
—
—
—

エ.

—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
X
—
—

<設問 2> 次の還元するポイントを求めるデシジョンテーブル中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

J社では継続利用をしているユーザに対してランクを設定し、契約年数とランクに応じてポイントを還元する仕組みを検討している。ポイント還元はユーザの誕生月に年1回実施される。ユーザは還元されたポイントを1ポイント1円として携帯電話料金の支払いに利用することができる。

[ポイント還元について]

ポイント還元は下記の条件によって決定する。

- ・契約年数は5年未満, 10年未満, 10年以上の3区分とする。
- ・ランクはレギュラー, シルバー, ゴールドの3区分とする。ランクは年間の携帯電話料金によって決められる。
- ・ポイント還元は表4のように設定している。

表4 ポイント還元

ランク\契約年数	5年未満	10年未満	10年以上
レギュラー	0	300	500
シルバー	300	500	1000
ゴールド	500	1000	1200

表5 ポイント還元に関するデシジョンテーブル

レギュラー	Y	Y	(7)	N	N	N	N	N	N
シルバー	N	N		Y	Y	Y	N	N	N
ゴールド	N	N		N	N	N	Y	Y	Y
5年未満	Y	N		Y	N	N	Y	N	N
10年未満	N	Y		N	Y	N	N	Y	N
10年以上	N	N		N	N	Y	N	N	Y
0ポイント	X	-	-	-	-	-	-	-	-
300ポイント	-	X	-	X	-	-	-	-	-
500ポイント	(8)								
1000ポイント	-	-	-	-	-	X	-	X	-
1200ポイント	-	-	-	-	-	-	-	-	X

(7) の解答群

ア.

N
N
Y
N
Y
N

イ.

N
Y
N
N
N
Y

ウ.

Y
N
N
N
N
Y

エ.

Y
N
N
N
Y
N

(8) の解答群

ア.

－	－	－	X	－	X	－	X	－
---	---	---	---	---	---	---	---	---

イ.

－	－	X	－	X	－	X	－	－
---	---	---	---	---	---	---	---	---

ウ.

－	X	－	－	X	－	－	X	－
---	---	---	---	---	---	---	---	---

エ.

－	X	－	－	－	X	－	－	X
---	---	---	---	---	---	---	---	---

問題5 次の入出力装置に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータシステムは、様々な機器で構成され、機器により様々なインタフェース規格が用意されている。

<設問1> 次の入力装置に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

光学的に読み取る装置として、マークシートにマークされた位置を読み取る [(1)]、イメージスキャナから文書を画像データとして読み込みテキストデータに変換する [(2)] ソフトがある。

(1)、(2)の解答群

ア. ATA イ. OCR ウ. OMR エ. PCI

<設問2> 次の出力装置に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

コンピュータの表示装置には、電圧をかけると光の通り方が変化する特殊な物質を利用する液晶ディスプレイがある。しかし、この特殊な物質自体は発光しないので、反射板やバックライトが必要である。そこで、電圧をかけると自ら発光する有機化合物を利用したものが [(3)] ディスプレイである。この表示装置は液晶ディスプレイと比べると、薄型・軽量で消費電力も小さいが導入コストが高くなる傾向がある。

なお、表示装置の色の表現には光の三原色である [(4)] が利用されている。

また、印刷装置の一つであるインクジェットプリンタは、ノズルの先端から微細なインクを噴射させて着色する方式である。色の三原色である [(5)] の三つのインクでフルカラー印刷が可能であるが、きれいな黒の表現や、写真の印刷にも対応させるためインクを複数追加しているプリンタもある。

(3)の解答群

ア. CRT イ. プラズマ ウ. 有機EL

(4)、(5)の解答群

ア. 赤, 黄, 青 イ. 赤, 緑, 青
ウ. シアン, マゼンタ, 黄 エ. シアン, マゼンタ, 黒

問題6 次の無線LANに関する記述を読み、各設問に答えよ。

LAN は比較的狭いエリアで構築するコンピュータネットワークである。LAN を構築するにはルータやハブなどの機器を用いる。そして、コンピュータどうしの接続にはツイストペアケーブルを用いた有線接続や無線を利用したものがある。無線 LAN の中でも IEEE802.11 規格を使用して Wi-Fi Alliance の認証を受けたものは Wi-Fi と呼ばれる。現在の無線 LAN は、ほぼ Wi-Fi に対応している。

<設問1> 次の Wi-Fi の規格に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

Wi-Fi の規格にはいくつかあり、最大通信速度や周波数帯によって分けられている。現在主流として使われているのは「IEEE802.11n」や「IEEE802.11ac」であり、他にも「IEEE802.11a」や「IEEE802.11g」がある。

Wi-Fi で使われている周波数は 2.4GHz と 5GHz であり、5GHz を使っている主な規格は「IEEE802.11a」、「IEEE802.11ac」である。この周波数は無線 LAN 専用のため、他の機器からの干渉が無く安定した通信が可能になるが、障害物があると電波が弱くなってしまう。最大通信速度は「IEEE802.11a」が [(1)] で「IEEE802.11ac」が 6.9Gbps である。

また、「IEEE802.11n」や「IEEE802.11ax」は [(2)] の周波数を使用しており、「IEEE802.11ax」では理論上 9.6Gbps の通信速度が出せる。

(1) の解答群

ア. 11Mbps イ. 54Mbps ウ. 300Mbps エ. 1000Mbps

(2) の解答群

ア. 1.2GHz イ. 2.4GHz ウ. 2.4GHz と 5GHz エ. 5GHz

<設問2> 次の Wi-Fi の利用に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

Wi-Fi では [(3)] と呼ばれる中継器を利用する。これは無線 LAN の電波を送受信する機器であり、パソコンやスマートフォンなどのデバイスとルータの中継をするものである。無線 LAN では、デバイスが [(3)] を識別するために [(4)] を使っている。

(3) , (4) の解答群

ア. ESSID イ. NIC ウ. VPN
エ. アクセスポイント オ. カスケード カ. パケット

<設問3> 次の Wi-Fi のセキュリティに関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

Wi-Fi は外部からの侵入や盗聴などの脅威にさらされている。そのため、様々な方法によってセキュリティを担保している。

外部からの侵入対策としては、中継器をデバイスの一覧に表示させないようにする [(5)]，デバイスのネットワークカードに設定されている個々の機器を識別する数値により中継器への接続を許すかどうかを判断する [(6)] がある。

盗聴の対策としては暗号化を行っている。Wi-Fi が普及しはじめた頃は [(7)] が使われていた。これは IEEE802.11 の規格に準拠したものだが、いくつかの脆弱性が発見されているため利用は推奨されていない。これに代わるものとして Wi-Fi Alliance が [(8)] を発表し、その後暗号の危殆化に対応して、バージョンアップされている。

(5) ~ (8) の解答群

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| ア. ESSID ステルス | イ. MAC アドレスフィルタリング |
| ウ. WEP (Wired Equivalent Privacy) | エ. WPA (Wi-Fi Protected Access) |
| オ. ゲートウェイ | カ. 無線 LAN アダプタ |

問題7 この問題で使用する表計算ソフトの仕様を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

COUNTIF 関数

範囲に含まれるセルのうち、条件に一致するセルの個数を返す。

書式：COUNTIF(範囲, 条件)

SUM 関数

指定した範囲に含まれる数値の合計値を返す。

書式：SUM(範囲)

SUMIF 関数

指定した検索範囲の中で、条件に一致するセルの合計範囲に対応するセルの値の合計値を返す。

書式：SUMIF(検索範囲, 条件, 合計範囲)

VLOOKUP 関数

検索範囲から、検索値を探し、位置で指定した列の値を返す。位置は1から始まる相対的な値であり、検索範囲中に見つけた行の中で、左から何番目の列かを示す。なお、検索方法は0の場合は完全に一致する値を探し、1の場合は検索値以下の最大値を探す。ただし、1の場合の検索範囲は昇順に並べ替えておく必要がある。

書式：VLOOKUP(検索値, 検索範囲, 位置, 検索方法)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地(絶対参照)を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより、別のワークシートを参照できる。例:ワークシート名「集計」のセルA1を参照する場合は、「集計!A1」と記述する。

家電製品を扱っているJ電気では、1月から3月までに販売した商品の売上状況を表計算ソフトにより集計することにした。必要な情報を基幹システムからダウンロードして表計算ソフトに入力した。

[売場ワークシートについて]

J電気の売場をまとめたものである。この表には、6行まで入力している。

	A	B
1	売場コード	売場名
2	U01	生活家電
3	U02	映像
4	U03	オーディオ
5	U04	パソコン
6	U05	携帯電話

図1 「売場」ワークシート

[社員ワークシートについて]

J電気で働く社員をまとめたものである。社員は販売を担当する売場が決まっております。担当以外の売場で販売することはない。この表には、100行まで入力している。

	A	B	C
1	社員コード	社員名	売場コード
2	S01001	日下佳音	U01
3	S01004	明石貞夫	U03
⋮	⋮	⋮	⋮
99	S05031	秦華蓮	U05
100	S05041	竹村昇一	U04

図2 「社員」ワークシート

[商品ワークシートについて]

J電気で扱っている商品をまとめたものである。どの売場で扱うかの情報も入っている。この表には、50行まで入力している。

	A	B	C
1	商品コード	商品名	売場コード
2	P01001	A社洗濯機	U01
3	P01002	B社洗濯機	U01
⋮	⋮	⋮	⋮
49	P05008	B社モバイルバッテリー	U05
50	P05009	C社モバイルバッテリー	U05

図3 「商品」ワークシート

[売上ワークシートについて]

1～3月までの売上を、日付、商品、販売を担当した社員、販売金額でまとめたものである。1行に1件ずつ入力しており、1度の会計で同じ商品を複数購入した場合は商品数の分を1行ずつ入力している。例えば、1つの商品を3つ購入した場合は3行入力する。この表には、1000行まで入力しており、並びはランダムである。

	A	B	C	D
1	日付	商品コード	社員コード	販売金額
2	2023/03/09	P01001	S02021	80,000
3	2023/01/12	P05001	S03017	60,000
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
999	2023/03/05	P01006	S04008	30,000
1000	2023/03/09	P02005	S04006	200,000

図4 「売上」ワークシート

<設問1> 次の「売上」ワークシートの編集に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

後の集計で必要になるので、図4の「売上」ワークシートのE列に売場コードを入力することにした。なお、以降の設問で「売上」ワークシートを参照する場合は、図5のE列を追加した「売上」ワークシートを参照するものとする。

	A	B	C	D	E
1	日付	商品コード	社員コード	販売金額	売場コード
2	2023/03/09	P01001	S02021	80,000	U01
3	2023/01/12	P05001	S03017	60,000	U05
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
999	2023/03/05	P01006	S04008	30,000	U01
1000	2023/03/09	P02005	S04006	200,000	U02

図5 売場コードを追加した「売上」ワークシート

・セルE2に次の式を入力し、セルE3～E1000に複写した。

= (1)

(1) の解答群

- ア. VLOOKUP(B2, 商品!\$A2:\$C50, 3, 0)
- イ. VLOOKUP(B2, 商品!A\$2:C\$50, 3, 0)
- ウ. VLOOKUP(C2, 社員!A\$2:C\$100, 2, 0)
- エ. VLOOKUP(C2, 社員!A2:C100, 2, 0)

<設問 2> 次の「社員ごと販売金額」ワークシートの作成に関する記述中の に
入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

社員ごとの販売金額を求めるために図 6 の「社員ごと販売金額」ワークシートを作成する。

	A	B	C
1	社員コード	社員名	販売金額
2	S01001	日下佳音	590,000
3	S01004	明石貞夫	1,076,000
⋮	⋮	⋮	⋮
99	S05031	秦華蓮	137,000
100	S05041	竹村昇一	1,096,000

図 6 「社員ごと販売金額」ワークシート

- ・ A 列と B 列は図 2 の「社員」ワークシートから複写した。
- ・ セル C2 に次の式を入力し、セル C3～C100 に複写した。
= (2)

(2) の解答群

- ア. SUMIF(売上!\$C2:\$C1000, \$A2, 売上!\$D2:\$D1000)
- イ. SUMIF(売上!C\$2:C\$1000, A2, 売上!D\$2:D\$1000)
- ウ. SUMIF(売上!\$D2:\$D1000, \$A2, 売上!\$C2:\$C1000)
- エ. SUMIF(売上!D\$2:D\$1000, A2, 売上!C\$2:C\$1000)

<設問 3> 次の「売場ごと販売金額」ワークシートの作成に関する記述中の に
入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

売場ごとの販売金額を求めるために図 7 の「売場ごと販売金額」ワークシートを作成する。

	A	B	C
1	売場コード	部署名	販売金額
2	U01	生活家電	16,120,000
3	U02	映像	15,485,000
4	U03	オーディオ	8,929,000
5	U04	パソコン	17,175,000
6	U05	携帯電話	4,473,000

図 7 「売場ごと販売金額」ワークシート

- ・ A 列と B 列は図 1 の「売場」ワークシートから複写した。

- セル C2 に次の式を入力し、セル C3～C6 に複写した。

=

(3) の解答群

- ア. SUMIF(売上!\$D2:\$D1000, A2, 売上!\$E2:\$E1000)
- イ. SUMIF(売上!D\$2:D\$1000, A2, 売上!E\$2:E\$1000)
- ウ. SUMIF(売上!E\$2:E\$1000, A2, 売上!D\$2:D\$1000)
- エ. SUMIF(売上!\$E2:\$E1000, A2, 売上!\$D2:\$D1000)

<設問 4> 次の「商品ごと集計」ワークシートの作成に関する記述中の に
入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

売場ごとの商品の販売金額と販売数量を集計した図 8 の「商品ごと集計」ワークシートを作成する。売場単位で見たいため、1つの売場で販売している商品のみの集計を行う。ここでは、売場コード「U02」で販売している商品の集計を行う。

	A	B	C	D
1	商品コード	商品名	販売金額計	販売数量
2	P02001	A社液晶テレビ	3,290,000	44
3	P02002	B社液晶テレビ	1,060,000	18
4	P02003	C社液晶テレビ	3,025,000	37
5	P02004	A社有機ELテレビ	1,540,000	12
6	P02005	B社有機ELテレビ	2,460,000	15
7	P02006	C社有機ELテレビ	1,560,000	13
8	P02007	A社Blu-rayプレーヤ	140,000	7
9	P02008	B社Blu-rayプレーヤ	90,000	6
10	P02009	A社HDDレコーダ	1,750,000	24
11	P02010	B社HDDレコーダ	570,000	19

図 8 「商品ごと集計」ワークシート

- 図 3 の「商品」ワークシートで売場コード「U02」で販売している商品を抽出し、A列と B 列に商品コードと商品名を複写した。

- C 列は商品ごとの販売金額の合計を求める。セル C2 に次の式を入力し、セル C3～C11 に複写した。

=

- D 列は商品ごとの販売数量を求める。セル D2 に次の式を入力し、セル D3～D11 に複写した。

=

(4) , (5) の解答群

- ア. COUNTIF(売上!B\$2:B\$1000, A2)
- イ. COUNTIF(売上!\$B2:\$B1000, \$A2)
- ウ. COUNTIF(売上!E\$2:E\$1000, A2)
- エ. COUNTIF(売上!\$E2:\$E1000, A\$2)
- オ. SUMIF(売上!B\$2:B\$1000, A2, 売上!D\$2:D\$1000)
- カ. SUMIF(売上!\$B2:\$B1000, A\$2, 売上!\$D2:\$D1000)
- キ. SUMIF(売上!D\$2:D\$1000, A2, 売上!B\$2:B\$1000)
- ク. SUMIF(売上!\$D2:\$D1000, \$A2, 売上!\$B2:\$B1000)

<設問5> 次の「商品ごと集計」ワークシートの編集に関する記述中の に
入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図8の「商品ごと集計」ワークシートで求めた販売数量からパレート図を作成することにした。そこで、図8の「商品ごと集計」ワークシートを販売数量の降順に並べ替え、E列に販売数量の合計に対する各行までの販売数量累計の割合を求める(図9)。なお、E列はパーセント表示の書式を設定して小数点以下1桁までを表示するようにしている。

	A	B	C	D	E
1	商品コード	商品名	販売金額計	販売数量	割合
2	P02001	A社液晶テレビ	3,290,000	44	22.6%
3	P02003	C社液晶テレビ	3,025,000	37	41.5%
4	P02009	A社HDDレコーダ	1,750,000	24	53.8%
5	P02010	B社HDDレコーダ	570,000	19	63.6%
6	P02002	B社液晶テレビ	1,060,000	18	72.8%
7	P02005	B社有機ELテレビ	2,460,000	15	80.5%
8	P02006	C社有機ELテレビ	1,560,000	13	87.2%
9	P02004	A社有機ELテレビ	1,540,000	12	93.3%
10	P02007	A社Blu-rayプレーヤ	140,000	7	96.9%
11	P02008	B社Blu-rayプレーヤ	90,000	6	100.0%

図9 E列を追加した「商品ごと集計」ワークシート

- ・セルE2に次の式を入力し、セルE3~E11に複写した。

=

(6) の解答群

- ア. SUM(D2:D2) / SUM(D\$2:D\$11)
- イ. SUM(D\$2:D2) / SUM(D\$2:D\$11)
- ウ. SUM(D\$2:D\$2) / SUM(D\$2:D\$11)
- エ. SUM(D\$2:D\$2) / SUM(D2:D11)

